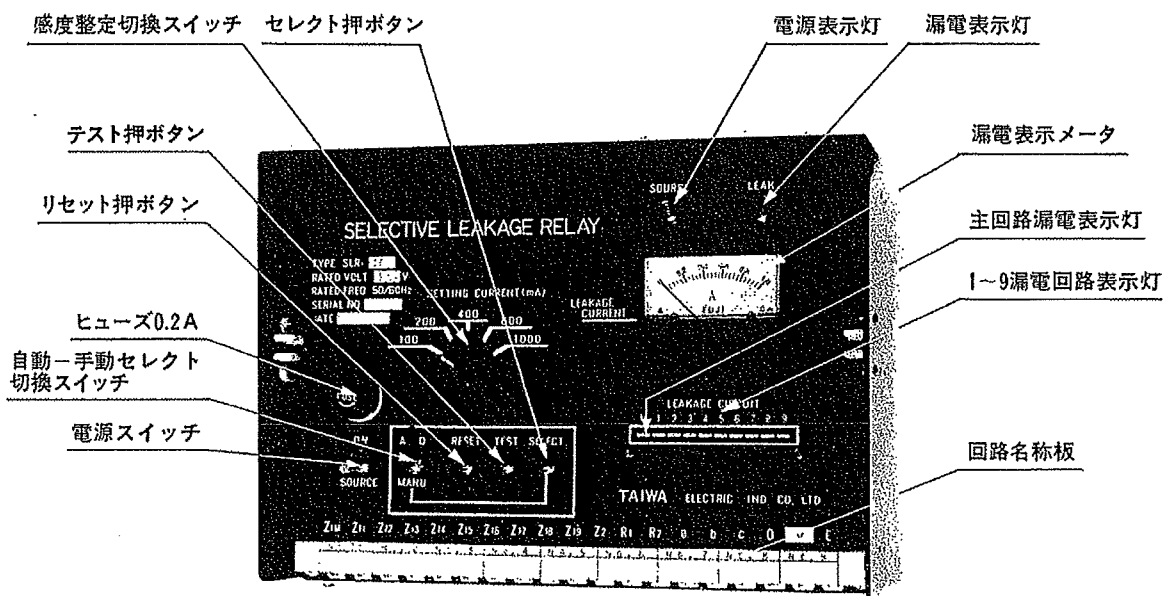


# SLR形 漏電選択継電器 (SELECTIVE LEAKAGE RELAY)

## 【概 要】

本器は主回路及び分岐回路の変流器と組み合わせて、分岐9回路までの漏電の検出選択を行ない、さらに漏電表示メータにより各分岐回路の漏洩電流を測定することができる総合的な漏電監視器です。



## 【特 長】

1. 選択操作は無接点で行なっているので、信頼性が高く確実に動作します。
2. 各回路の漏洩電流を随時に測定できるので適正な保護管理が行なえます。
3. 回路数の増加に伴い本器を増設する場合、外部作動端子 $R_1$ 、 $R_2$ の接続だけで同時選択ができます。
4. 他の継電器（例えば漏電火災警報器、漏電リレー等）との組み合わせも本器との選択検出感度協調をとれば容易にできます。
5. 変流器の種類が豊富で、しかも互換性がありますから使用場所に適合するものを選定することができます。（変流器カタログ参照下さい）

泰和電気工業株式会社

## 【動作説明】

分岐回路に設置された変流器の負荷側で漏電事故が発生すると、主変流器に漏洩電流が流れます。本器は待機状態にある場合、常に主変流器の出力が内部の継電器に接続されているので整定感度に見合った電流が流れれば、その信号を増幅、整流しメータを振らせ、さらにレベル検出し出力リレーを動作させ漏電表示灯を点灯させて選択動作を開始します。セレクト回路はAUTOまたはMANUALスイッチの操作により動作が次のようになります。

### (1) AUTO(自動)方式

自動的に1～9までの各回路の事故探索を行ないます。

探索はLED(発光ダイオード)が順次点灯して行き事故回路の表示を残します。9番目の回路まで探索するとLEDはM(主)で点滅し選択が終了したことを示します。このときメータは主変流器の漏洩電流を指示しています。再探索を行なうときは一度復帰操作を行って下さい。

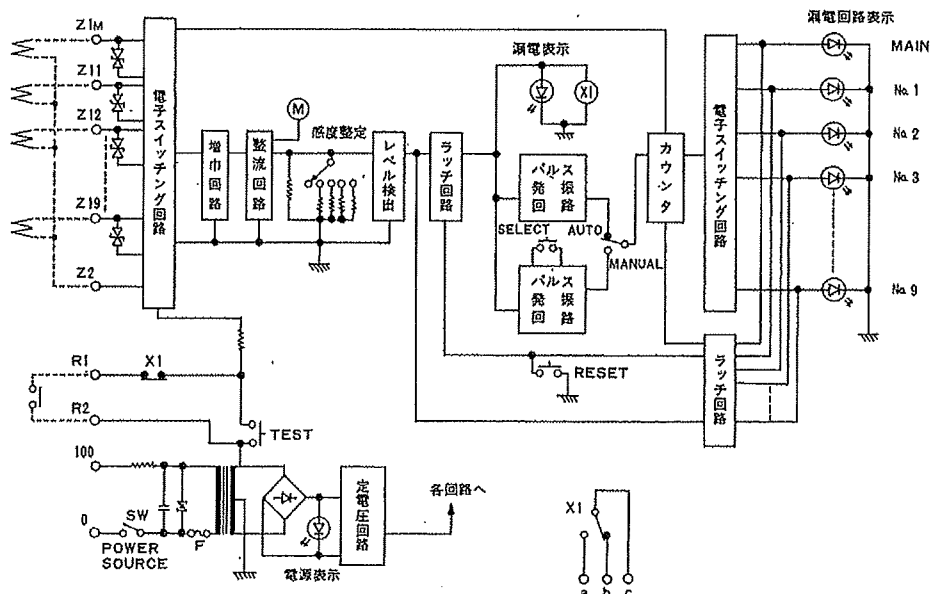
### (2) MANUAL(手動)方式

セレクト押しボタンを使用します。一回押すごとに回路を切換えて行き事故点へくるとランプは点灯したままになり、すべての回路の選択が終了すると、セレクト押しボタンを押してもM(主)が点灯するだけで、再探索はできません。このときメータは主変流器の漏洩電流を指示します。再び探索を行なうときは一度復帰操作を行って下さい。MANUAL(手動)方式は主にメータで各回路の漏洩電流を読みとるような場合に使用します。セレクト押しボタンは押し続けている間だけ、その回路の漏洩電流を表示します。手動操作を行なう場合には1分岐回路ごとに1秒以上押し続けて選択して下さい。

(注)

AUTO(自動)、MANUAL(手動)方式いずれの場合も手動復帰ですから事故回復後はリセット押しボタンにより待機状態に戻して下さい。

【内部ブロック接続図】



◆1.単体で使用する場合◆

分岐数が9回路以下の場合には図1のように接続して下さい。それ以上分岐回路がある場合には図2のように本器を分岐数に応じて2台3台とふやし、R<sub>1</sub> R<sub>2</sub>の接続をするだけで、それぞれを同時に動作させることができます。

試験は主回路のZCTが接続されているもののTESTボタンを押した場合には、すべての機種が一斉に動作します。それ以外のもののTESTボタンはその機種の単体試験となります。

◆2.他のリレーと組み合わせて使用する場合◆

分岐数が9回路以下の場合には図3のように、それ以上の場合には図4のように接続して下さい。

試験は主回路のZCTが接続されているリレーのTESTボタンを押した場合には、すべての機種が一斉に動作します。SLR-1のTESTボタンの場合には単体試験となります。

(注意)

- (1)他のリレーと組合せて使用する場合、主回路のZCTの二次配線は独立させて行なって下さい。
- (2)Z<sub>2</sub>端子に接続するZCTの共通線(ℓ)は夫々の機種について単独にして下さい。(本器を2台以上使用する場合)
- (3)他のリレーと組合せる場合は本器との感度協調に注意して下さい。
- (4)ZCTの取り扱いには専用カタログを参照下さい。

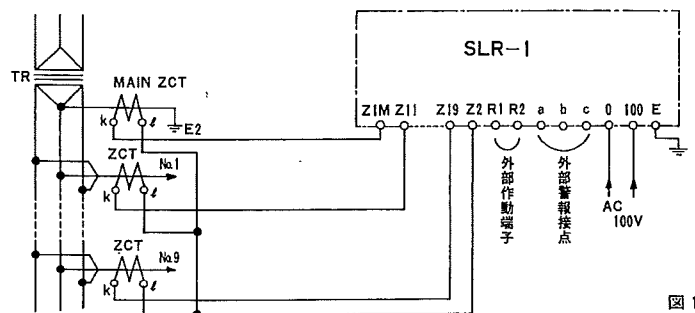


図1

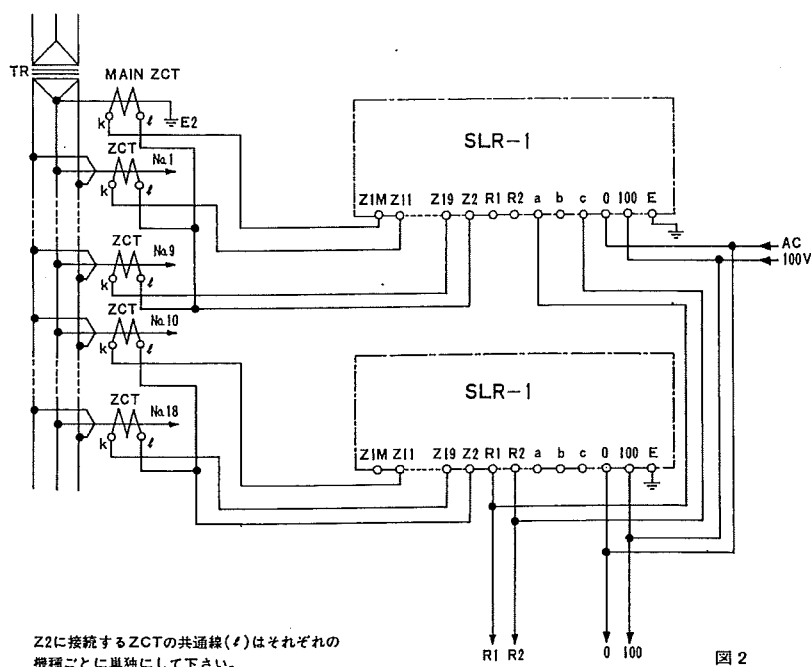


図2

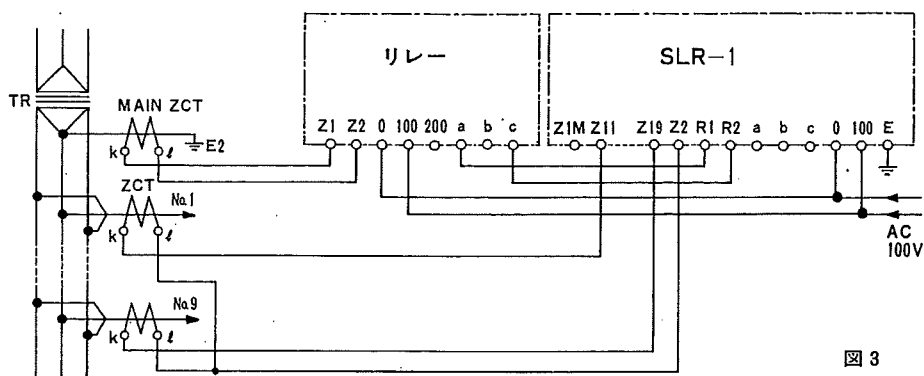
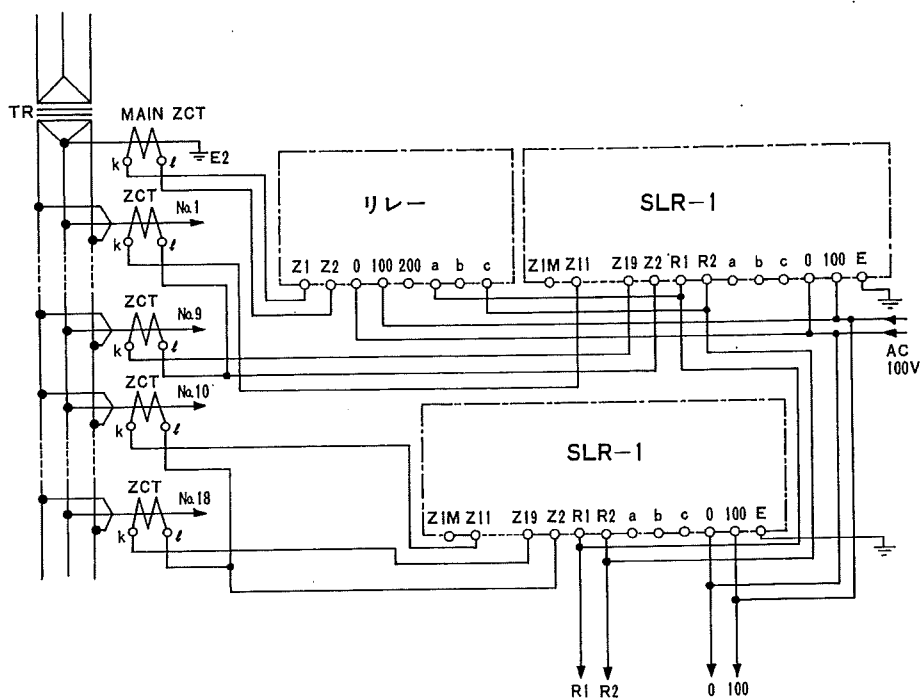


図 3



Z2に接続するZCTの共通線(l)はそれぞれの機種ごとに単独にして下さい。

図 4

## 【仕 様】

形 式	SLR-1F(露出)、1B(埋込)
操作電源電圧	AC100V
周 波 数	50/60Hz共用
最大消費電力	5VA
使用温度範囲	-20°C~60°C
絶 縁 耐 力	Z <sub>1</sub> 、Z <sub>2</sub> 回路およびR <sub>1</sub> 、R <sub>2</sub> 回路を除く、各回路の端子一括と外箱(E端子)間に AC1,500V 1分間
絶 縁 抵 抗	Z <sub>1</sub> 、Z <sub>2</sub> 回路およびR <sub>1</sub> 、R <sub>2</sub> 回路を除く、各回路の端子一括と外箱(E端子)間に DC500V 50MΩ以上
出 力 接 点	1C 容量 AC250V 2A (力率1.0) AC250V 1A (力率0.4)
電源表示灯	白色ランプ(発光ダイオード)
重 量	SLR-1F 約2kg SLR-1B 約2.7kg
ケ ー ス 色	黒

(継電器部)

公称作動電流値 100-200-400-800-1000mA(切換式)

動作値は整定値の50~100%

不動作電流値 整定電流値の50%以上

復帰方式 手動

動作表示灯 赤色ランプ(発光ダイオード)

動作表示メータ 0~1A

(選択部)

選択回路数 1主回路 9分岐回路

選択方式 自動 手動(切換式) 手動の場合はSELECTスイッチにより選択を行ないます

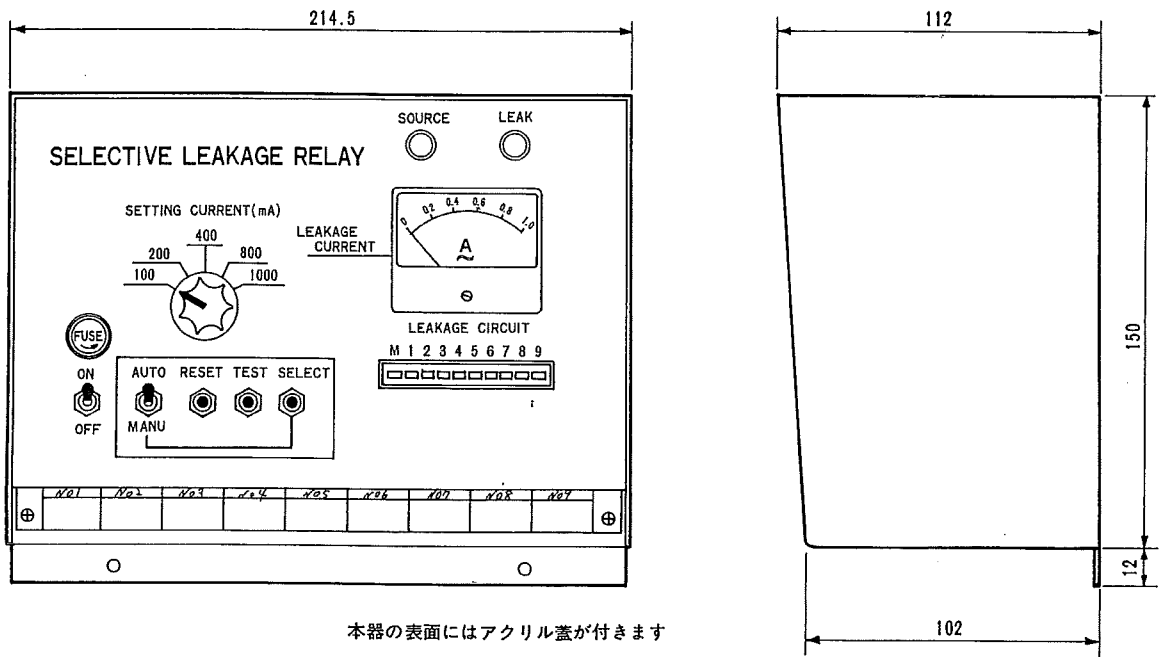
サンプル時間 約1SEC/回路(自動式)

サンプル表示 10連赤色ランプ(発光ダイオード)

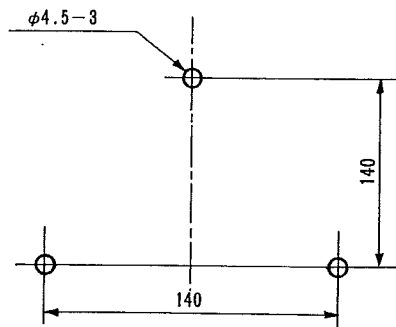
外部作動端子 R<sub>1</sub>、R<sub>2</sub>端子を短絡することにより本器を作動させることができます。

【外形寸法図】

SLR-1F (露出形)

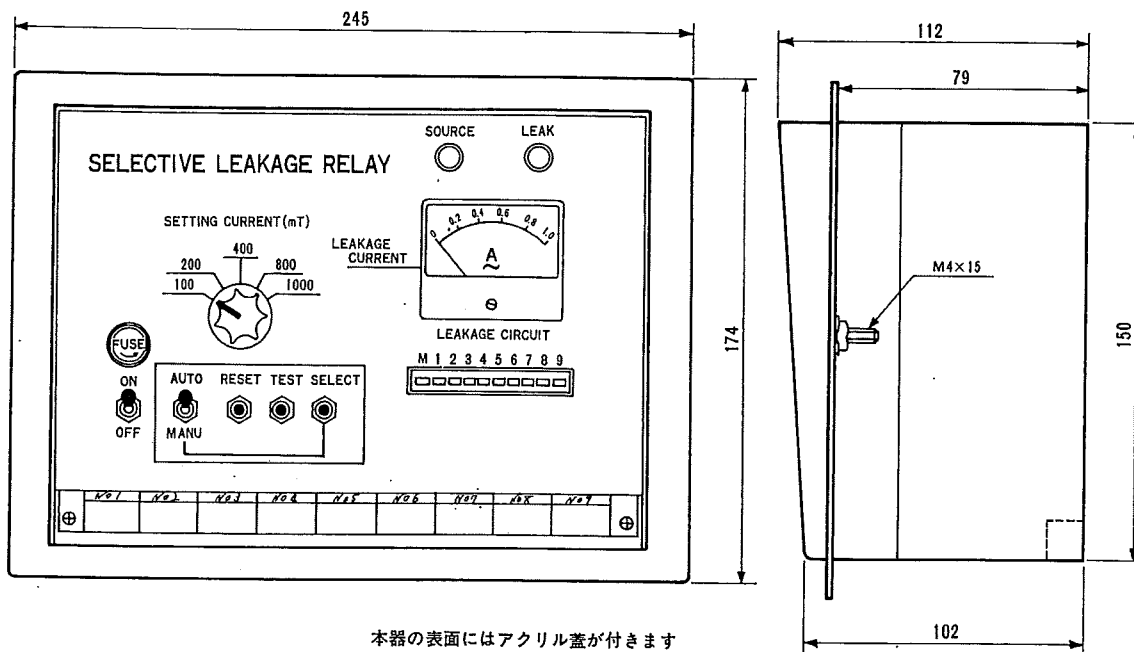


本器の表面にはアクリル蓋が付きます

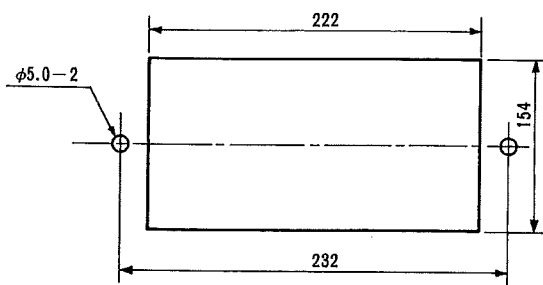


穴明寸法図

SLR-1B (埋込形)



本器の表面にはアクリル蓋が付きます



穴明寸法図

泰和電気工業株式会社

本社 〒105 東京都港区浜松町 2-5-8  
 TEL (03) 4 3 2-2 5 2 1 (代表)  
 名古屋出張所 〒455 名古屋市港区東海通り 3-7  
 TEL (052) 6 6 1-4 1 0 0  
 九州出張所 〒815 福岡市南区塩原 3-2-12  
 TEL (092) 5 1 1-0 7 1 9  
 浦和工場 〒336 埼玉県浦和市白幡 2-5-26  
 TEL (0488) 6 1-3 1 3 1 (代表)